

概算費用を算出します。

地盤調査の費用は、地盤調査にあまり馴染みがない設計者にとって金額の目安がわかりにくく、参考になるものもなく困っているという声を多く聞いていました。我々としても、概算費用を明示することで多くのお客様に地盤調査を身近に感じてもらい、発注先の候補の一つとして選んでもらえればと思い、開発を進めてきました。

地盤調査は対象とする敷地面積や対象とする構造物によって調査数量や調査項目が変わります。そのため、調査費用の目安を検討するためには調査会社に見積を依頼しなければなりません。しかし調査会社に見積依頼することは、会社探し含めハードルが高いのが現状です。そこでこの地盤調査概算見積機能を使用して頂くことで近隣の地盤情報を反映した概算見積を確認することができます。

見積の積算根拠は国土交通省が監修し、(一財)経済調査会が発行している「設計業務等標準積算基準書」を準拠しています。

調査項目は一般的な建築用のボーリング調査を想定しており、1本をサンプリング孔とし、1地点程度サンプリングを実施し、液状化の検討や必要な試験などを考慮しています。また仮設等の現場条件は、車両の駐車や地点間の移動が容易に可能という標準的な条件を想定しています。

調査深度は、地盤情報ナビに登録されている国土交通省や都道府県など官庁が公開しているボーリングデータ

の内、任意の地点から半径500m以内のボーリングデータを参考にしています。ボーリングデータは自動的に収集され、エリア内のボーリングデータの平均値を基準としています。ボーリングデータ収集時には、近隣の地形を考慮せずに半径500m以内を自動的に収集するため、平均値が必ずしも正しいとは限りません。そのため概算見積は収集した平均値、と収集した最大掘進長から見積を算出するようにしています。

周囲にボーリングデータが多数ある場合は、掘進長を算出する根拠となるデータが増えるので、見積の信頼度が高くなります。一方ボーリングデータが周囲に少ない場合は、遠方のデータをもとに計算するため、実際の掘進長との誤差が出る可能性が高くなります。

この機能を効果的に利用するためにはボーリングデータが高密度で分布される必要があります。このサービスをまずは東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県から先行して取り組んでいます。今後はボーリングデータが比較的多い、大阪、福岡から順次サービスを拡大していく予定です。また日頃から地盤情報ナビを利用されている方へサービスの認知方法などにまだまだ課題もございます。

【最後に】

今後は現在地盤情報ナビをご利用頂いているお客様を対象にご意見を伺いながら、より良いサービスの開発をすすめていければと考えています。

Web GIS

近隣の平均/最大ボーリング深さ
(設計業務等標準積算基準書による積算)

住所：東京都新宿区西早稲田3丁目13-5中央開発ビル
緯度：35.710°N, 経度：139.714°E
標高測定台数：15箇所

近隣(半径500m以内)ボーリング本数：13本を参考にした掘進長
平均掘進長：16.15m
最大掘進長：20.30m

見積算出方法
・「設計業務等標準積算基準書(令和3年版)」巻頭「国土交通大臣官庁標準積算基準」に準拠
・所在地域の地盤調査を考慮
・標準的国土開削費用を考慮

概算積算
平均掘進長：16.15mを2本掘削した場合の概算費用：364万円
平均掘進長：16.15mを4本掘削した場合の概算費用：598万円
最大掘進長：20.30mを2本掘削した場合の概算費用：452万円
最大掘進長：20.30mを4本掘削した場合の概算費用：684万円

※上記概算費用はあくまで、「設計業務等標準積算基準書(令和3年版)」(国土省の公表情報)に基いたもので、より詳細な見積が必要の場合は、お問い合わせください。

西早稲田二丁目

139-2323 35 74001

地盤調査概算見積